

教育大綱の基本方針をふまえ、特に意識してすすめるべき点	主な取組み	No.	R1年度の取組み			R2年度の取組み			担当課
			内容	成果	課題	新規/拡充/継続の別	R2事業費(千円)	R2実施内容及びR1課題を踏まえ取組む内容	
① 社会全体で協働し、子どもたちを育むこと	市民活動団体の活性化	1	・市民活動団体が自主的に実施する地域活性化や課題解決につながる活動に対する助成 地域等との協働事業に対する助成(交付団体 2団体)	・市民活動団体とまちづくり協議会が協働し、課題の解決に向けた事業を展開することができた。	・まちづくり協議会等との協働事業の更なる促進	継続	1,200	・補助金説明会の開催や毎月定期発行している市民活動団体活動情報紙等を通じて補助制度の周知を図り、地域等と協働した事業展開を促進する。	協働推進課
	協働のまちづくりの推進	2	・協働のまちづくり推進会議(市・地域の代表者・学識経験者により協議する場)の開催 4回開催(モデル的事業の検証、居場所づくりなど地域課題の解決に向けた議論・協議 ほか)	・協働のまちづくりを推進していく上での課題や各地区の取組みを共有し、課題の解決に向けた新たな事業展開や、今後の在り方について議論を深めることができた。	・地域と行政、関係機関との議論の充実と、協働した取り組みの促進	継続	240	・協働のまちづくり推進会議の定期開催 ・課題に対応する関係課や関係機関の推進会議への参画を通じて、地域と行政との協働を推進する。	協働推進課
		3	・協働のまちづくり支援金(260,000千円) 内モデル的事業・事務局強化支援事業への助成(10,000千円) モデル的事業への助成(5地区 6事業) 事務局強化支援事業への助成(6地区)	・モデル的事業 地域課題の解決に向けた先駆的・効果的な事業をモデル的事業として認定し追加支援することで、若者の参画促進や大学との連携、防災体制の強化など、新たな事業展開を図ることができた。 ・事務局強化支援事業 事務局強化に取り組む地区に対し追加支援することで、新たな人材の確保や時間外手当の確保などにより、円滑な事務局運営を進めることができた。	・モデル的事業 地域課題の解決に向けた新たなモデル的事業の実施促進 他地区におけるモデル的事業の活用促進 ・事務局強化支援事業 事務局人件費の確保と事務局業務の負担軽減に向けた、事業や組織体制の見直しの促進	継続	264,500	・モデル的事業 協働のまちづくり推進会議においてモデル的事業の実施状況や実施上の課題等について検証を行い、効果的な事業実施を図る。 ・事務局強化支援事業 協働のまちづくり推進会議において事務局人件費の確保に向けた、事業や組織体制の見直し、自己財源の確保等の取り組みの検証を行いつつ、円滑な事務局運営が図られるよう議論を継続する。	協働推進課
		4	・協働のまちづくり人材育成への支援 各まちづくり協議会が実施する人材育成事業等への講師派遣 (2月末現在 4地区)	・情報発信の強化に向けた研修や、住民ニーズの把握等に取り組むまちづくり協議会に対し講師(専門家)を派遣することで、事業を進めるにあたってのノウハウや手法等を提供することができた。	・講師派遣事業の積極的な活用と、講師からのアドバイス等を踏まえた効果的な事業実施	継続	2,210	・まちづくり協議会関係会議や事務局訪問により講師派遣事業の活用を提案するほか、事業を活用したことによる効果的な事業展開が図られた事例等について周知するなど事業の活用を促進する。	協働推進課

教育大綱の基本方針をふまえ、特に意識してすすめるべき点	主な取組み	No.	R1年度の取組み			R2年度の取組み			担当課
			内容	成果	課題	新規/拡充/継続の別	R2事業費(千円)	R2実施内容及びR1課題を踏まえ取組む内容	
	結婚の促進	5	・結婚新生活世帯に対する助成 結婚を機に新生活を始める世帯へ住居費・引越費用を支援(2月末現在 16件)	・結婚を機に新生活を始める世帯に助成することで、安心して結婚・子育てをする環境づくりを支援することができた。	・市民への制度の周知の強化が必要である。	継続	6,000	・広報掲載や関係事業所へのチラシ配布等により、制度を広く周知する。	協働推進課
	防犯体制の強化	6	・防犯カメラ設置に対する助成 町内会等による自主防犯活動を補完するための防犯カメラ設置に対する助成(2月末現在 4件)	・防犯カメラの設置により、地域での防犯体制の強化を図ることができた。	・地域での見守り活動等、防犯の取り組みの実施促進	継続	1,000	・町内会長手引きへの補助制度の掲載や新町内会長に対する説明を行い、制度の活用と地域での防犯活動の促進を図る。	協働推進課
	施設等の防災対策	7	・ブロック塀の撤去等に対する助成 倒壊のおそれのあるブロック塀のうち、道路や公園などに面する部分の撤去を支援(2月末現在 21件)	・倒壊のおそれのあるブロック塀のうち、道路や公園などに面する部分の撤去を支援した。 ・通学路沿いのブロック塀の所有者に啓発活動を行った。	・通学路沿いの所有者への継続的な啓発	継続	12,000	・広報等による啓発活動及び助成制度を継続する。	建築住宅課
	子どもを産み育てやすい環境づくり	8	・子どもにやさしいまちづくり計画の見直し 昨年度実施したニーズ調査、子育て世帯生活実態調査結果を踏まえ、子ども・子育て支援に関する施策をさらに推進するための計画を策定	・次世代育成支援対策推進法及び子ども・子育て支援法に基づく計画としての位置づけに加え、新たに子どもの貧困対策の推進に関する法律に基づく計画としても位置づけ、子ども・子育て支援に関する途切れない施策を総合的に推進する計画として策定(策定中)	(平成31年度完了)	-	-	-	子育て支援課
		9	・先天性風しん症候群の予防 一定の年代の男性に対し、抗体検査及び予防接種法に基づく定期接種を実施 岐阜県無料風しん抗体検査の該当者で、風しん抗体が十分でない者に対し予防接種費用を助成 (12月末実績 抗体検査:1,250人 予防接種:46人)	・抗体価が低い46人が予防接種を受けたことで、風しんのまん延予防が図れた。	・抗体検査受診者の低迷	継続	49,930	・昭和37年4月2日から昭和47年4月1日生まれの男性に、抗体検査および予防接種ができるクーポン券を発送予定 ・R1年度抗体検査未受診者に対する受診勧奨	健康推進課

教育大綱の基本方針をふまえ、特に意識してすすめるべき点	主な取組み	No.	R1年度の取組み			R2年度の取組み			担当課
			内容	成果	課題	新規/拡充/継続の別	R2事業費(千円)	R2実施内容及びR1課題を踏まえ取組む内容	
② 妊娠期から子どもが自立するまで継続して支えること	妊産婦の健康支援	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>産後健診の実施 母子健康手帳交付時に受診票を交付。市内委託医療機関等での個別健診（産後2週間・1ヶ月健診） (1月末受診者数 産後2週間:467件 産後1か月:492件)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>産後健診の結果を参考に、産婦の心身のケアをすることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診率の向上</li> </ul>	継続	5,800	<ul style="list-style-type: none"> <li>産後2週間、産後1か月時に産婦の健診を継続して実施</li> <li>心身の不調者に対する早期対応</li> </ul>	健康推進課
		11	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子母子手帳「さるぼぼタッチ」の提供 妊婦教室のお知らせや子育てイベントを配信 (7月末現在登録者数736人) (1月末現在登録者数865人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>7月末と比べ登録者数が増え、子育てイベントへの参加者数も増えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さらなる利用率の向上</li> </ul>	継続	700	<ul style="list-style-type: none"> <li>母子保健事業時や子育て事業時に電子母子手帳を啓発</li> <li>母子保健事業の情報を電子母子手帳で配信</li> </ul>	健康推進課
		12	<ul style="list-style-type: none"> <li>妊婦栄養支援事業 妊娠中の方の牛乳またはヨーグルトの購入費を助成 (1月末実績:98件)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>妊娠中にバランスの良い食事の購入費助成により、栄養支援を実施できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用率の向上</li> </ul>	継続	1,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>母子保健事業時にバランス食を啓発</li> <li>電子母子手帳等を利用し、事業を周知</li> </ul>	健康推進課
		13				新規	130	<ul style="list-style-type: none"> <li>助産師相談日の開設 月2回助産師による相談日を開設する。</li> </ul>	健康推進課
		14				新規	1,600	<ul style="list-style-type: none"> <li>産後ケア事業 産後のホルモンバランスの崩れなどから、精神的に不安定になっている母親に対し、医療機関に宿泊や通所したり、助産師が自宅に訪問し、心身のケアや育児サポートを行う。</li> </ul>	健康推進課
	保護者の経済的負担の軽減	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食費の負担軽減 給食費の1/3などを保護者に代わって市が負担</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の経済的負担を軽減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特になし</li> </ul>	継続	133,196	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食費の1/3などを保護者に代わって市が負担</li> </ul>	教育総務課
		16				新規	300	<ul style="list-style-type: none"> <li>小児がん患者へのワクチン再接種に対する助成</li> </ul>	健康推進課

教育大綱の基本方針をふまえ、特に意識してすすめるべき点	主な取組み	No.	R1年度取組み			R2年度取組み			担当課
			内容	成果	課題	新規/拡充/継続の別	R2事業費(千円)	R2実施内容及びR1課題を踏まえ取組む内容	
③安心して子育てできる働き方を確保すること	子育て家庭への支援	17	・市総合福祉センターでの夜間保育の実施 (H30利用実績:279人、H31利用実績:374人 R2.1月末現在)	・夜間に保育を必要とする子どもを安全に受入することができた	・事業周知を行いH30年度に比べ利用実績は伸びているが、当初の見込みほどの状況ではない。	拡充	16,400	・開所時間を1時間早めて16時30分からの6時間開設として実施するとともに、この事業が労働力確保につながるよう関係団体と協議する。	子育て支援課
		18	・放課後児童支援員の処遇改善に対する助成 支援員の勤続年数や研修実績に応じた賃金改善に要する費用を助成(対象者見込み80名)	・勤続年数や研修実績に応じた処遇改善及び資質向上が図られた。	・放課後児童支援員の安定的な確保	継続	15,000	・放課後児童支援員の処遇改善に対する助成による安定的な人員の確保	子育て支援課
		19				新規	3,600	・養育支援が必要な家庭に対する訪問支援 支援が特に必要な家庭へ訪問支援者を派遣し、養育に関する指導や助言、家事や育児などの援助を行い、当該家庭の適切な養育の実施を確保する。(利用者負担なし)	子育て支援課
		20				新規	1,000	・ひとり親家庭等に対する訪問支援 ひとり親家庭等の親が就学や疾病、冠婚葬祭などにより、一時的に家事の援助や保育サービスが必要となった場合に対し、家庭生活支援員を派遣し、生活を支援する。	子育て支援課
		21				新規	40	・施設等の退所に係る身元保証人の確保に対する支援 母子生活支援施設に入所中又は退所した子どもや女性に対し、就職やアパート等の賃貸、大学等へ進学する際に施設長が身元引受人となった場合の損害保険料について、市が負担することで、身元保証人の経済的負担を軽減し、社会的自立を支援(県補助3/4)	子育て支援課

教育大綱の基本方針をふまえ、特に意識してすすめるべき点	主な取組み	No.	R1年度の取組み			R2年度の取組み			担当課
			内容	成果	課題	新規/拡充/継続の別	R2事業費(千円)	R2実施内容及びR1課題を踏まえ取組む内容	
	人材の育成・確保	22	・中小企業事業所内保育施設の運営に対する助成 子育て世代が働きやすい環境づくりを推進するための事業所内保育施設の運営に対する助成 夜間保育の運営費に対して助成を加算(運営費補助 2件予定)	・子育て世代が働きやすい環境づくりを推進できた。	・夜間保育に対する助成は、周知に努めたが申請はない。	継続	11,000	・中小企業事業所内託児施設の整備・運営費補助金のさらなる周知	商工課
④ 家族や身近な人たちに見守られながら絆や愛情を育むこと	協働のまちづくりの推進	23	・協働のまちづくり支援金(260,000千円)【NO. 3再掲】 内モデル的事業・事務局強化支援事業への助成(10,000千円) モデル的事業への助成(5地区 6事業) 事務局強化支援事業への助成(6地区)	・モデル的事業 地域課題の解決に向けた先駆的・効果的な事業をモデル的事業として認定し追加支援することで、若者の参画促進や大学との連携、防災体制の強化など、新たな事業展開を図ることができた。 ・事務局強化支援事業 事務局強化に取り組む地区に対し追加支援することで、新たな人材の確保や時間外手当の確保などにより、円滑な事務局運営を進めることができた。	・モデル的事業 地域課題の解決に向けた新たなモデル的事業の実施促進 他地区におけるモデル的事業の活用促進 ・事務局強化支援事業 事務局人件費の確保と事務局業務の負担軽減に向けた、事業や組織体制の見直しの促進	継続	264,500	・モデル的事業 協働のまちづくり推進会議においてモデル的事業の実施状況や実施上の課題等について検証を行い、効果的な事業実施を図る。 ・事務局強化支援事業 協働のまちづくり推進会議において事務局人件費の確保に向けた、事業や組織体制の見直し、自己財源の確保等の取り組みの検証を行いつつ、円滑な事務局運営が図られるよう議論を継続する。	協働推進課
	地域の声を生かした学校づくり	24	・学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)の導入 協議会設置に向けた協議、設置要綱の整備	・学校運営協議会規則を制定することにより、4月からの協議会実施体制を整えることができた。	・4月からの協議会設置に向けた学校運営のあり方の検討及び地域との調整	継続	0	・学校運営協議会の本格実施 ・地域に根差した学校運営の実施	学校教育課
保育サービスの充実		25	・公立保育園の運営、私立保育園への委託、保育料軽減、私立保育園の運営に対する助成、私立保育園の特別保育サービスに対する助成	・公立、私立保育園において保育ニーズに対応した保育サービスの実施ができた。	・各種保育サービスの実施に必要な人員の確保	継続	2,320,289	・人員を確保し、各種保育サービスを実施	子育て支援課
		26	・保育士確保に向けたプロモーション 保育士の仕事体験会3回開催、PRチラシやTV番組の制作	・各取組みにより、多くの方に保育士の仕事を知っていただくことができた。	・より効果的な保育士確保プロモーションの実施	拡充	1,140	・保育士の魅力を伝えるPR映像を制作するなど、効果的なプロモーションを実施	子育て支援課

教育大綱の基本方針をふまえ、特に意識しやすめるべき点	主な取組み	No.	R1年度の取組み			R2年度の取組み			担当課
			内容	成果	課題	新規/拡充/継続の別	R2事業費(千円)	R2実施内容及びR1課題を踏まえ取組む内容	
⑤ すべての子どもが健やかに育つ保育を整えること	幼児教育の推進	27	・幼児教育の無償化 10月から幼稚園・保育園等の利用料を無償化 実費負担となる保育園の副食費等について、市独自の負担軽減策を実施	(子育て支援課) ・円滑に幼児教育の無償化を開始することができた。 ・実費徴収となる保育園の副食費について市独自の負担軽減を実施することで保護者の負担増にならない取組みができた。 (教育総務課) ・円滑に幼児教育の無償化を開始することができた。 ・これまで実費徴収であった幼稚園の副食費については保育園と同様の負担軽減を新たに実施することで保護者の一層の負担軽減が図られた。	(子育て支援課) ・各種保育サービスの実施に必要な人員の確保 (教育総務課) ・幼稚園教諭の処遇改善及び幼稚園施設の老朽化対策や設備の充実			(子育て支援課) NO.25に統合 (教育総務課) NO.28に統合	子育て支援課 教育総務課
		28	・私立幼稚園の運営、保育料軽減に対する助成、私立幼稚園への施設型給付	(教育総務課) ・円滑に幼児教育の無償化を開始することができた。 ・これまで実費徴収であった幼稚園の副食費については保育園と同様の負担軽減を新たに実施することで保護者の一層の負担軽減が図られた。(再掲)	(教育総務課) ・幼稚園教諭の処遇改善や幼稚園施設の老朽化対策や設備の充実(再掲)	継続	185,150	・保育料改定による各幼稚園の教育の質の向上について、状況把握に努めながら施設型給付等を行う。	教育総務課
	乳幼児の健康の保持増進	29	・屈折検査機器による3歳児眼科検診 県のモデル事業により試行中 (3歳児健診受診者数 1月末:508人)	・従来の絵指標を使った視力検査に加え、屈折検査機器を用いた検査を併用することで、紹介状発行件数が増え、治療が必要な児の早期発見につながった。	・経過観察児に対する対応	継続	40	・3歳児健診時に、絵指標を使った視力検査に加え、屈折検査機器を用いた検査を併用して実施する。	健康推進課
	障がい児の療育の支援	30	・障がい児通所支援事業の利用者負担金の助成	・これまでも市単独で利用者負担の助成を実施していたが、10月から国制度の無償化の実施により、安定した制度運用が継続的に実施できるようになった。	・障がい児通所支援事業者のサービスの実施に必要な人員の確保	継続	30,600	・事業利用者への自己負担助成を継続して実施する。	子育て支援課

教育大綱の基本方針をふまえ、特に意識してすすめるべき点	主な取組み	No.	R1年度の取組み			R2年度の取組み			担当課
			内容	成果	課題	新規/拡充/継続の別	R2事業費(千円)	R2実施内容及びR1課題を踏まえ取組む内容	
	つどいの広場の充実	31	・木のおもちゃの導入による木育の推進 県産材を活用した木のおもちゃ等を導入(つどいの広場11カ所)	・県産材を活用した木のおもちゃ等の導入により、乳幼児期から木とふれあい、親しむ環境の整備が図られた。	(平成31年度完了)	-	-	-	子育て支援課
	地域の遊び場や居場所の充実	32				新規	3,000	・町内会等が設置する児童遊園地の遊具整備に対する助成 ・補助率 3/4 ・限度額 750千円	子育て支援課
⑥ 食育や眠育により、望ましい生活習慣を身につけること	食育や眠育の推進	33	・食育・眠育の推進 睡眠の大切さなどを伝える講演会(6月,10月,11月)、中学3年生への健康教育(8~9月) 「子どもノート」の配付による乳幼児期からの保護者の理解の促進 (子どもノート配付者数 1月末646人)	・母子保健事業に「子どもノート」を使用することや、講演会などを通じて、月齢や年齢に応じた食育・眠育を保護者が理解できた ・中学3年生への健康教育は、自らの生活と健康について考える機会となった	・幼児や小中学生における望ましい生活リズムや食習慣の確立	継続	850	・母子保健事業や講演会、健康教育等の実施による食育・眠育の推進	健康推進課

教育大綱の基本方針をふまえ、特に意識してすすめるべき点	主な取組み	No.	R1年度の取組み			R2年度の取組み			担当課
			内容	成果	課題	新規/拡充/継続の別	R2事業費(千円)	R2実施内容及びR1課題を踏まえ取組む内容	
⑦ 教育、子育てに関連する施設を整えること	保育施設の整備	34	・私立保育園の整備に対する助成(本母保育園園舎新築) 10月竣工	・保育環境の整備を促進することができた	(平成31年度完了)				子育て支援課
	学校における安全安心の確保	35	・学校施設の長寿命化改修(新宮小・丹生川中※令和2年度までの継続費)、本郷小学校プールの改修	・新宮小・丹生川中において、校舎の長寿命化のほか内装の木質化やバリアフリー化が進み、教育環境の安全性・快適性が向上した。	・児童生徒の授業等への影響に十分配慮しつつ、計画的に工事を実施	継続	920,800	・学校施設の長寿命化改修(新宮小・丹生川中) R2完成予定	教育総務課
		36	・学校(普通教室等)へのエアコン整備 (H30-31:1,374,000千円) 小学校18校 281室、中学校11校 146室	・令和2年3月末までに対象箇所すべてで設置完了の見込みであり、普通教室等における夏場の熱中症対策が進んだ。	・特別教室など未設置教室における熱中症対策 ・運用ルールの策定	継続	595,000	・特別教室への空調設置(平成31年度補正予算に計上し、全額繰り越し)	教育総務課
		37	・屋内運動場ガラス飛散防止改修(江名子小、新宮小、丹生川小、松倉中、荘川中)	・災害時に避難所としても利用する屋内運動場における非構造部材の耐震対策が進んだ。	・ガラス飛散防止改修未完了の屋内運動場への対応	継続	24,000	・屋内運動場ガラス飛散防止改修(東小、三枝小、国府小、日枝中、国府中)	教育総務課
	安全安心な学校給食の提供	38	・学校給食センター整備計画の策定 公設卸売市場内での高山センター整備、他のセンターの適正配置の検討	・地域住民からの意見収集等により、計画の検討を進めることができた。	・施設の市全体のなかでの適正な配置	継続	-	・学校給食センター整備計画の策定	教育総務課
⑧ すべての子どもに、その子にとっての居場所をつくること	地域が主体となった子どもの居場所づくり	39	・協働のまちづくり推進会議(市・地域の代表者・学識経験者により協議する場)の開催【NO. 2再掲】 4回開催(モデル的事業の検証、居場所づくりなど地域課題の解決に向けた議論・協議 ほか)	・協働のまちづくりを推進していく上での課題や各地区の取組みを共有し、課題の解決に向けた新たな事業展開や、今後の在り方について議論を深めることができた。	・地域と行政、関係機関との議論の充実と、協働した取り組みの促進	継続	240	・協働のまちづくり推進会議の定期開催 ・課題に対応する関係課や関係機関の推進会議への参画を通じて、地域と行政との協働を推進する。	協働推進課



教育大綱の基本方針をふまえ、特に意識してすすめるべき点	主な取組み	No.	R1年度の取組み			R2年度の取組み			担当課
			内容	成果	課題	新規/拡充/継続の別	R2事業費(千円)	R2実施内容及びR1課題を踏まえ取組む内容	
⑨ 子ども一人ひとりに寄り添い、個性や能力を伸ばすこと	子ども発達支援センターの強化	40	・保育士研修による療育支援体制の充実 療育支援マスターの育成、療育に係る専門家の招へい、幼児や学童に対する発達検査の実施	・療育支援マスター研修等を実施し、新たに7名の療育支援マスターを養成し、途切れのない支援ができる中核的な人材の育成と確保が図れた。 ・発達検査の実施対象者を小学生まで拡大したことで、途切れのない支援の必要性の推進につながっている。	・地域療育の質を確保するためニーズに沿った高い専門性を備えた人材育成が必要	拡充	1,460	・療育支援マスター研修、公開療育研修の実施 ・公認心理士の配置による相談業務等の強化	子育て支援課
	学びのセーフティネットの構築	41	・特別支援員・保健相談員の配置 不登校傾向、外国籍、特別な支援が必要な児童生徒への支援	・学習や集団生活に「困り感」をかかえる児童生徒に寄り添いながら、適した支援を行うことができた。	・毎年増加する日本語が困難な外国人児童生徒の対応 ・継続的な支援の確保	継続	105,981	・学習や集団生活に「困り感」をかかえる児童生徒に対して継続的に支援するための相談員の確保	学校教育課
		42	・要保護・準要保護児童生徒に対する新入学学用品費等を入学前に支給 H31.4月入学の児童生徒からを対象、単価見直しにかかる差額を追加支給	・対象となる児童生徒への入学前支給を実施し、経済的負担の軽減を図ることができた。	・対象者の漏れが無いよう、保護者の現況把握及び継続的な支援	継続	3,262	・学用品等の支払いに対して経済的に困っている保護者への継続的な支援の実施	学校教育課
⑩ 子どもの人権を尊重し、虐待やいじめをなくすこと	こころの健康支援	43	・ゲートキーパー育成講座、命の大切さの啓発 市民や相談事業に携わる専門職、民生児童委員、市職員等を対象に講座を開催(1月末現在 5会場 参加者:152人) 啓発リーフレットの作成、配布 健康づくり推進協議会専門部会における意見交換、情報共有	・ゲートキーパーの役割、悩みを持つ人への接し方、専門相談機関などについて多くの市民に啓発することができた。 ・専門部会により、市の自殺対策について課題共有を図ることができた。	・自殺者数の減少に向け、更なる市民意識の向上	継続	300	・ゲートキーパー研修の開催 ・市民への啓発について、専門部会での情報共有	健康推進課
	いじめ等対策の推進	44	・児童生徒等の重大事態調査委員会の開催(3/25開催予定) 市内の児童生徒等の実態を把握し、他市の事例から未然防止に向けた取組みや委員や行政が実施すべき対応を確認	・市内の児童生徒等の実態を把握し、他市の事例から未然防止に向けた取組みや委員や行政が実施すべき対応を確認予定	・重大事態発生時における迅速な対応	継続	165	・児童生徒等の重大事態調査委員会の開催 ・発生時の迅速な対応に向け委員との情報共有を図る。	企画課

教育大綱の基本方針をふまえ、特に意識してすすめるべき点	主な取組み	No.	R1年度の取組み			R2年度の取組み			担当課
			内容	成果	課題	新規/拡充/継続の別	R2事業費(千円)	R2実施内容及びR1課題を踏まえ取組む内容	
⑪ グローバル化や情報化など新しい時代に対応できる子どもたちを育てること	教育の情報化推進	45	・ICT機器を活用した教育の推進 パソコン教室へのタブレットPCの導入417台(小学校244台、中学校170台、教育研修所3台)	・タブレットPCの導入により、パソコン教室以外の授業の活用を進めることができた。	・1人1台タブレット整備に向けた授業の在り方の研究	拡充	108,770	・電子黒板・デジタル教科書の導入 ・タブレットを活用した効果的な授業の実施	学校教育課
		46	・教育系情報ネットワークのセキュリティ強化 各学校に設置されたサーバーの集約化、学習系と校務系のネットワーク分離	・学習系と校務系のネットワーク分離により、児童生徒の個人情報等のセキュリティ向上を図ることができた。	・教職員の情報セキュリティに対する意識向上	継続	30,510	・教職員の情報セキュリティに対する意識向上を図るための研修等を実施	学校教育課
		47	・プログラミング教育の推進 レゴロボットを20台導入し、全小学校で出前授業を実施	・レゴロボットを20台導入し、全小学校で出前授業を実施し、プログラミング教育における活用を図ることができた。	・各小学校における効果的なプログラミング教育の実施	継続	-	・レゴロボットを活用したプログラミング教育の実施	学校教育課
		48				新規	7,170	・校務支援システムの導入 帳票の統一化、情報の一元化により校務作業の軽減を図る。	学校教育課
	外国語教育の推進	49	・新学習指導要領による小学校英語教育の教科化への対応 小学校3・4年生の外国語活動、5・6年生の英語科に向けて、小学校英語カリキュラムマネージャー2名を配置	・カリキュラムマネージャーの助言により、小学校英語教育の教科化への環境を整えることができた。	(H31終了)	-	-	-	学校教育課

教育大綱の基本方針をふまえ、特に意識してすすめるべき点	主な取組み	No.	R1年度の取組み			R2年度の取組み			担当課
			内容	成果	課題	新規/拡充/継続の別	R2事業費(千円)	R2実施内容及びR1課題を踏まえ取組む内容	
⑫ 健康意識を高め、自ら健康を守る力を身につけること	健康の保持増進	50	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康ポイントの実施 広報たかやま5月15日号にて全世帯に配布し、6月から賞品交換開始(2月末交換者数見込:約1,800名)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>賞品交換者へのアンケート結果からは、市民が自らの健康に関心を深め、健康診査の受診や生活習慣の改善など、健康づくりに取り組む動機づけとなった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業参加者数の増加に向けた制度周知方法の工夫</li> </ul>	継続	2,400	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者数の増に向けた商品内容や制度周知方法の見直しを実施</li> </ul>	健康推進課
		51	<ul style="list-style-type: none"> <li>飛騨地域3市1村の連携による若年層の健診受診の促進 高等学校との情報共有による受診率の向上、学校での健診実施に向けた協議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校、高等学校との情報共有により、一部中学校において学校会場で健診を実施し、さらにR2年度には、中学校会場の増加、また、高等学校1校においても学校を会場として提供予定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>若年層の健診受診率の低迷</li> </ul>	継続	(一般会計) 10,198 (国保特会) 2,224	<ul style="list-style-type: none"> <li>3市1村の連携と、高等学校との情報共有による受診率の向上、学校での健診実施に向けた協議</li> </ul>	健康推進課
⑬ 保幼小中の連携に加え、高校や大学と連携を強めること	大学連携の推進	52	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学連携センターに対する助成、大学と連携した調査等の実施 運営費助成、大学と連携した調査等の業務委託 「下町」まちのデザイン調査研究、地域(荘川)のまちづくりに関する調査研究 ほかを実施 (大学教授や学生の受入人数と大学数: H30年1,472人、33大学 R2年2月現在 1,997人、35大学)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの大学教授や学生を高山へ呼び込むことができた。</li> <li>大学と連携した調査研究により、地域の魅力向上に向けた調査研究を実施することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学と連携した調査研究活動を活かした行政課題の改善 若者(市外学生)の地元定着に繋がる仕組み</li> </ul>	継続	18,700	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学と連携した調査等を実施し活用する。 SDGsの推進に向けた取組み、外国人の視点から検証する多文化共生に関する調査 ほか予定 若者(市外学生)の地元定着に繋がる仕組みの強化にむけた調査の実施</li> </ul>	企画課

教育大綱の基本方針をふまえ、特に意識してすすめるべき点	主な取組み	No.	R1年度取組み			R2年度取組み			担当課
			内容	成果	課題	新規/拡充/継続の別	R2事業費(千円)	R2実施内容及びR1課題を踏まえ取組む内容	
⑭ 若者が暮らし、働きたくなる魅力的なまちにすること	若者の活躍するまちづくりの推進	53	・若者等活動事務所の改修整備 改修工事、運営方針の決定	・若者たちが地域で活動する環境を整備できた。	・施設をより効果的に活用するための検討	継続	5,200	・外部有識者を含めた利活用検討会を開催し、効果的な活用を図る。	企画課
	企業誘致の促進	54	・サテライトオフィスの設置促進 飛騨高山お試しサテライトオフィスの活用による都市部の企業のサテライトオフィス立地促進 (H31年度延べ入居企業:8社、R2年2月現在入居企業:7社) サテライトオフィス開設に対する助成制度による支援 (R2年2月現在 0件)	・飛騨高山お試しサテライトオフィス利用企業により、地域課題の解決に向けた調査研究など市内企業との関係構築が図られた。	・飛騨高山お試しサテライトオフィスの活用による都市部の企業のサテライトオフィス立地	継続	2,000	・飛騨高山お試しサテライトオフィス利用企業の誘致促進と市内へのサテライトオフィス開設に向けた誘導	商工課
	高等教育等への支援	55	・高校生の遠距離通学者等に対する助成 公共交通機関の通学定期券購入などに係る費用の助成 (2月末現在 305件、10,925千円)	・高校生の遠距離通学における公共交通機関や下宿利用に係る経済的負担が軽減され、高校生の就学促進に寄与した。	・保護者や高校等への更なる制度周知	継続	17,000	・広報媒体の活用により制度周知を図りながら、引き続き遠距離通学する高校生等への支援を行う。	教育総務課
	暮らしやすく働きやすい環境づくり	56				新規	6,800	・高齢者等の公共交通の利用を促進するため割安な乗車パスポートを発行する。 ・若年者の公共交通の利用を促進するため運賃を無償化する。	都市計画課
		57	・インターンシップ受入事業所に対する助成 若者の地元就職を促進するため、インターンシップ受入事業者に対し、事業者が負担する実習生の滞在に要する費用の一部を助成 (利用件数 2件・71人)	・市内企業のインターンシップの利用促進が図られた。	・市内事業者に対し周知に努めたが利用が少ない。	拡充	600	・学生のインターンシップを受け入れる市内事業者の負担の軽減 補助率を1/3から1/2へ変更	商工課

教育大綱の基本方針をふまえ、特に意識してすすめるべき点	主な取組み	No.	R1年度の取組み			R2年度の取組み			担当課
			内容	成果	課題	新規/拡充/継続の別	R2事業費(千円)	R2実施内容及びR1課題を踏まえ取組む内容	
⑮ 学んだことを社会に活かせる生涯学習を活発にすること	生涯学習の推進	58	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども夢創造事業(科学)の充実</li> <li>施設見学(7月24日:御母衣ダム・発電所、7月30日:京都大学飛騨天文台)</li> <li>ものラボワークショップ(8月8日~10日:東大生指導等)</li> <li>科学ひろば(8月9日:高山工業高校)</li> <li>クルマを楽しく学ぼう@高山自動車短大(10月5日)</li> <li>プログラミング講座(11月19日、21日、26日、27日)</li> <li>科学と芸術の森(2月1日:サイエンスショー等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校、大学、企業、団体の協力により、科学・ものづくりにふれる多様な体験機会を提供することができた。</li> <li>科学・ものづくりを通じた交流、職業意識の向上を図るきっかけづくりとなった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協力団体の増加</li> <li>体験内容のさらなる充実</li> </ul>	継続	3,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども夢創造事業(科学)の実施</li> <li>①施設見学(御母衣ダム、京都大学飛騨天文台)</li> <li>②ものラボワークショップ(東大生指導によるピタゴラ製作等)</li> <li>③科学ひろば(高校、大学、企業、団体による科学・ものづくり体験)</li> <li>④科学講座(クルマを楽しく学ぼう、プログラミング講座、紙飛行機を飛ばそう)</li> </ul>	生涯学習課
		59	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習講座や出前講座の開催、生涯学習人材登録制度による地域人材の活用</li> <li>生涯学習講座(11月~12月、計8回開催)</li> <li>出前講座(70講座)</li> <li>生涯学習人材登録制度(登録件数:41人41団体、3名の登録者が7回活動)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「めでた講座」や「親子郷土料理教室」の実施による伝統的な文化に触れる機会の提供や「子育て親育ち講演会」の実施による子育て世代やその親世代に家庭教育の大切さを伝える機会を提供することができた。</li> <li>「たかやま出前講座」の実施により市民と行政が一体となった生涯学習によるまちづくりの推進に寄与した。</li> <li>人材登録制度の周知により地域課題の解決やまちづくりに活かす講座開催を促進することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域課題の解決や魅力づくりにつながる地域づくり型生涯学習の推進</li> <li>人材登録制度の利用促進</li> </ul>	継続	380	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習講座の開催</li> <li>人材登録制度のPR</li> <li>人材登録制度の登録者のレベルアップ支援</li> </ul>	生涯学習課
		60					新規	1,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども夢創造しごと編 市内小中学生を対象に高山市の地場産業の高度な技術の見学や勉強会を行う。※一位一刀彫予定</li> </ul>

教育大綱の基本方針をふまえ、特に意識してすすめるべき点	主な取組み	No.	R1年度の取組み			R2年度の取組み			担当課
			内容	成果	課題	新規/拡充/継続の別	R2事業費(千円)	R2実施内容及びR1課題を踏まえ取組む内容	
⑬ レクリエーション・健康・競技など目的に応じたスポーツを活発にすること	部活動の支援	61	・部活動指導員の配置 (2月末現在 6校に8名の指導員を配置)	・競技経験の無い教職員に変わり部活動指導員を配置することで、競技にかかる生徒への適切な指導及び教員の業務負担を軽減することができた。	・教員の業務負担軽減のための適正配置の検討	継続	7,527	・新年度の体制に合わせて部活動指導員を配置	学校教育課
		62	・各種大会出場費に対する助成 クラブ活動についても部活動と同様に助成が受けられるよう見直し 助成実績:バレーボールクラブほか 1件	・クラブ活動に対する助成拡充により、部活動以外に属する中学生の保護者の負担軽減を図ることができた。	・クラブ活動の助成利用がさらに増えるように周知	継続	2,000	・学校や広報等を通じた制度の周知 ・部活動及びクラブ活動の大会出場にかかる保護者の負担軽減	学校教育課
	高トレエリアの環境充実	63	・高地トレーニングエリア構想に基づく整備 休憩棟の新築、クロスカントリーコースの整備、医科学サポートスタッフの配置 ほか 利用345団体 26,592人(2月末現在)	・競技力の向上を支援するためのトレーニング環境の整備をすすめることができた。	・通年利用の確保 ・利用団体の意見反映	継続	8,000	・高地トレーニングエリア構想に基づく整備により利用者の確保を図る。 ・日和田ハイランド陸上競技場芝改修 ・かがり火クロスカントリーコース舗装	スポーツ推進課
		64	・市内小中学生等の高地トレーニングエリア利用に対する助成 エリア内での宿泊料、移動費用に対する助成制度の創設 利用4団体 63人	・小中学生が整ったトレーニング環境を経験することにより、次代を担う子ども達の意欲向上に努めることができた。	・利用者(団体数)が少ない。	継続	1,000	・制度の周知による更なる利用促進	スポーツ推進課
		65				新規	770	・高地トレーニング環境を利用した外部講師招へいによる健康づくり教室の開催 高トレ環境を利用し、小中学生をはじめとする市民の健康づくりを促進	スポーツ推進課

教育大綱の基本方針をふまえ、特に意識してすすめるべき点	主な取組み	No.	R1年度の取組み			R2年度の取組み			担当課
			内容	成果	課題	新規/拡充/継続の別	R2事業費(千円)	R2実施内容及びR1課題を踏まえ取組む内容	
スポーツ活動の充実		66	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども夢創造事業(スポーツ)の充実 車いすラグビーの体験(10/26開催 70名参加) ジュニアゴルファーの育成(9/28,10/14,26,27開催 56名参加)</li> <li>FC岐阜によるスポーツ教室(7/6,9/28開催 96名参加)</li> <li>ブラックブルズ交流イベント(6/15,16開催 8チーム150名参加)</li> <li>ブラックブルズ訪問指導(13回開催、13チーム220名参加)</li> <li>トップアスリートの招へい柔道(3月実施予定) ほか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域で活躍する競技団体や全国レベルのトップアスリートによる多様な体験機会を提供することができた。</li> <li>障がい者スポーツへの理解を深めることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験競技のさらなる充実</li> </ul>	継続	5,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども夢創造事業(スポーツの実施)</li> <li>車いすラグビー</li> <li>ジュニアゴルファー育成</li> <li>FC岐阜</li> <li>ブルズ</li> <li>トップアスリートの招へい</li> </ul>	スポーツ推進課
		67	<ul style="list-style-type: none"> <li>飛騨高山ブラックブルズ岐阜への助成 競技力向上のための支援を拡充(H31 2,000千円)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>助成額の拡充により選手の競技力の向上にむけ支援することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特になし</li> </ul>	継続	2,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続して支援</li> </ul>	スポーツ推進課
		68	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域スポーツ活動の指導者育成 スポーツ指導員資格取得の支援(講座受講 38名)、 初級障がい者スポーツ指導員資格取得の支援(講座受講 0名)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ推進員の資格取得を支援することができた。</li> <li>資格取得により、スポーツ推進員がより効果的に地域での活動を行うことができた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>初級障がい者スポーツ指導員受講の促進</li> </ul>	継続	1,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ指導員講座受講支援</li> <li>初級障がい者スポーツ指導員講座受講支援及びより一層の周知</li> </ul>	スポーツ推進課
		69				新規	1,700	<ul style="list-style-type: none"> <li>オリンピックパラリンピック観戦ツアーの実施 小中学生を中心とした市民を対象とした競技観戦(オリンピック競技:陸上、テコンドー、ハンドボール パラリンピック競技:自転車、車いすラグビー)</li> </ul>	スポーツ推進課

教育大綱の基本方針をふまえ、特に意識してすすめるべき点	主な取組み	No.	R1年度の取組み			R2年度の取組み			担当課
			内容	成果	課題	新規/拡充/継続の別	R2事業費(千円)	R2実施内容及びR1課題を踏まえ取組む内容	
⑰ 暮らしと人間性や創造性を豊かにする文化芸術を活発にすること	文化芸術の振興	70	・第3回飛騨高山文化芸術祭こだま〜れ2019の開催 実行委員会プロジェクト 8事業 市民提案プロジェクト 31事業 市民応援プロジェクト 29事業(1月末現在)	・四季を通じ市内全域で様々な文化芸術イベントを開催し、文化芸術にふれる機会を提供することができた。 ・市民の主体的な取組みを促進することができた。	・文化芸術祭の市民への更なる浸透 ・支所地域の地域資源を活かした事業展開	-	0	※3年に1度の開催 次回:2022(R4)年開催予定	生涯学習課
		71	・子ども夢創造事業(文化芸術)の充実 市外訪問型ワークショップ 「わたしも一日芸大生(名古屋芸術大学)」(7月28日) 市内招待型ワークショップ 「墨と絵具で日本画に挑戦!」(3月27日予定) 現代アートワークショップ(新規) 「光の芸術家」(8月13・14日) 「踊りながら絵を描こう」(2月1日)	・様々な文化芸術を体験する機会を提供することができ、参加者の満足度も高い事業となった。 ・「わたしも一日芸大生」では大学の専門的な設備を使用し、本格的な文化芸術活動を体験することができた。 ・「踊りながら絵を描こう」では、芸術家を招聘し、他では体験できない新しい表現(現代アート)に触れる機会を提供することができた。	・より多くの子どもたちへの体験機会の提供	継続	3,000	・子ども夢創造事業(文化芸術)の実施 ① 市外(芸術系大学等)訪問ワークショップ ② 専門家や芸術家を招いた文化芸術体験講座 ③ 新しい表現(現代アート)に触れる体験講座	生涯学習課
	文化財の保存・活用	72	・高山祭屋台行事の伝承に対する助成 祭礼衣装等の復興を支援(1団体2,000千円)	・衣装が新調されることにより行事の伝承に対する機運が高まった。	・地域からの要望が強く、継続して事業を行う必要がある。	継続	2,000	・八幡祭の祭礼で使用される衣装等の復興を支援	文化財課
		73	・高山祭屋台等の復刻・保存に向けた調査 清見地域三日町白山神社神楽台や東山神明神社神楽台ほか	・地域住民が自らの地域の魅力を再発見するきっかけとなった。	・地域住民による文化財的価値の認識と保存に対する意識の向上が必要	継続	0	・調査成果について地域住民等への周知	文化財課
		74				新規	3,100	・伝統的建造物群保存地区拡大に向けた調査	文化財課



教育大綱の基本方針をふまえ、特に意識してすすめるべき点	主な取組み	No.	R1年度の取組み			R2年度の取組み			担当課
			内容	成果	課題	新規/拡充/継続の別	R2事業費(千円)	R2実施内容及びR1課題を踏まえ取組む内容	
⑩ 誇りと愛着に満ちた歴史文化を次代に脈々と引き継いでいくこと	無形文化遺産・日本遺産等の活用	75	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本遺産を中核とした環境整備・人材育成</li> <li>日本遺産を活かした伝統芸能ライブ「NOBODY KNOWS」(9/23、120名)</li> <li>飛騨匠フォーラム一年輪から飛騨の匠を読み解くー(12/8、講演会60名、体験200名)</li> <li>高山祭屋台蔵の解説看板の整備(25か所)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本遺産をステージとすることでその素晴らしさを再認識する機会となった。</li> <li>専門家の講演により参加者の日本遺産への理解が深まった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さらに日本遺産に対する市民への理解を進める必要がある。</li> </ul>	継続	2,700	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本遺産の構成文化財の一つ、高山城のPRのため、VR展示を作成する。</li> </ul>	文化財課
		76	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本遺産等の地域資源の活用に向けた調査</li> <li>国府荒城地区</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>H30に実施した大学連携事業の結果説明会を実施し、地域住民に調査結果を周知することができた。</li> <li>第八次総合計画後期計画(地域のまちづくり)へ反映させた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活用について市全体の方向性を定めて進める必要がある。</li> </ul>	継続	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域資源の整理から活用まで第八次総合計画を踏まえた取り組みのスケジュールの策定</li> </ul>	文化財課
	歴史的風致の維持向上	77	<ul style="list-style-type: none"> <li>飛騨高山まちの体験交流館の管理運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広場でのイベント開催等により市民や観光客の交流の場となった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流館の施設運営の一元化にむけた検討</li> </ul>	継続	20,310	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流館の施設運営について、指定管理者制度の導入も含め検討</li> </ul>	文化財課
	自ら学び考える力の育つ教育の推進	78	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと魅力体験学習</li> <li>市内小中学校が県内施設の見学や各種体験を実施</li> <li>小学校8校、中学校6校</li> <li>行先:美濃和紙の里会館、航空宇宙博物館、うかいミュージアム、アクア・トト ほか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内の自然、歴史、文化、産業等に関わる施設等を訪れることで、岐阜県の魅力を新たに発見する機会を得ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒にふるさとの魅力を再発見させるとともに、公共施設使用時のマナーを身につけさせるための内容検討</li> </ul>	継続	2,500	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内の自然、歴史、文化、産業等に関わる施設等を訪れることで岐阜県の魅力を体験させる。(県委託事業)</li> <li>小学校2校、中学校4校実施予定</li> </ul>	学校教育課
		79	<ul style="list-style-type: none"> <li>カリキュラム・マネジメント充実事業(外部講師等を活用した教育プログラム)</li> <li>日枝中をモデル校とし、生徒が主体的に学びを深めるための研究授業等を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日枝中の研究授業では、5分短縮授業により1日40分～45分を確保。その時間で防災教育や地域の課題研究を行うなど充実した学習ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>H31終了</li> </ul>	-	-	-	学校教育課
80						新規	33,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校の教科書改訂に伴う指導書等の購入</li> </ul>	学校教育課
		81	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳教科化に伴う指導書等の購入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次期学習指導要領に基づく道徳科授業の準備ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>H31終了</li> </ul>	-	-	-	学校教育課